

謝辞

今回の写真展は、前回の写真展で寺院をテーマにしたことから、自然な流れとして神社を取り上げることにしました。

神社の写真を撮り始めてしばらくして、「半分近くはめどが立ったかな」、と思っていたころ、東海ステーションギャラリーで開かれた秋山 喜和氏の「蓮の花」の写真展(「蓮池・・・その折々の詩」、2016年1月下旬開催)を偶然に見る機会がありました。

衝撃でした。ゆるぎない構図、緻密な細部描写。

それまで私は、主に風景写真を撮ってきていて、構図といえば、私の好みはいろいろな要素を写し込む、ということでしたたので、特定の対象を切り取る、という撮影方法はあまり考えていなかったのでした。また、撮影対象は無限遠のために、細部の緻密描写は限界があります。

確かに、無限遠ではないものを撮る場合、構図と細部描写は重要な要素です。

いまのままではいけない、このような写真を目標にしなければいけない、とその時に強く感じました。

写真展の会場で秋山氏に話を伺うと、カメラボディは私のもので問題なさそう、レンズはだめでグレードアップしないといけない、構図は勉強するほかはない、と感じました。

前回の写真展から年月がかなり過ぎていたため、写真展会場の予約をしなければならず、県立図書館のギャラリーに申し込みをする一方、レンズの選択に取りかかりました。とにかく、定年退職の立場ですから、コスト削減が最重要課題でした。その結果、オークションサイトで望遠ズームを手に入れながら結果的に故障品だった、などというアクシデントにあったりして、望遠、標準、広角の3本のズームレンズを入手し、撮影し直しとなりました。

一時は「半分近くはめどが立った」と思っていたのですが、今回展示した写真は全部撮り直しました。いま振り返って考えると、秋山氏の写真展を見て、こういう写真を撮らなくてはいけない、と考えた目標に対して、思ったほど近づけたわけではありません。それでも、写真を撮る力としては、自分にとっては大きな進歩でした。今回は、A2サイズを基本に、一部はA1という、前回(全てA3ノビ)より大きなサイズにしたのは、少しでも目標に近づくための“あがき”です。

私に新たな目標を与えていただいた秋山 喜和氏に、感謝申し上げます。

もうひとつ、A2、A1 サイズのプリントとなると、私にはプリンターを用意するのは問題がありました。プリンター設備の貸出しというサービスがあることを知り、これを利用する予定でしたが、現実には、自宅から東京まで何度も出かけるのは負担が大きいということから、結局、今回のプリントは全てe1さんに依頼することになりました。午前11時までにデータを送ると、プリント結果が翌日の午前に届く、というレスポンスの早さにだいぶ助けられました。このようなサービス体制を作っていただけたe1さんに感謝申し上げます。

最後になりましたが、今回の撮影対象である五つの神社の関係者の方々に謝意を表します。木造建築の維持・運営に大変なご苦労をされているものと推察します。そのおかげで、私たちは、重要文化財の美しさに感動し、さらには、神社の長い歴史に思いをはせることができます。

水戸八幡宮

笠間稻荷神社

内外大神宮

大宝八幡神社

鹿島神宮

富田次男

謝辞 Ver. 2

今回の写真展は、前回の写真展で寺院をテーマにしたことから、自然な流れとして神社を取り上げることにしました。

神社の写真を撮り始めてしばらくして、「半分近くはめどが立ったかな」、と思っていたころ、東海ステーションギャラリーで開かれた秋山 喜和氏の「蓮の花」の写真展（「蓮池・・・その折々の詩」、2016年1月下旬開催）を偶然に見る機会がありました。

衝撃でした。ゆるぎない構図、緻密な細部描写。

いまのままではいけない、このような写真を目標にしなければいけない、とその時に強く感じました。

写真展の会場で秋山氏に話を伺うと、カメラボディは私のもとで問題なさそう、レンズはだめでグレードアップしないといけない、構図は勉強するほかはない、と感じました。前回の写真展から年月がかなり過ぎていたため、写真展会場の予約をしなければならず、県立図書館のギャラリーに申し込みをする一方、レンズの選択に取りかかり、望遠、標準、広角の3本のズームレンズ入手し、撮影し直しとなりました。

一時は「半分近くはめどが立った」と思っていたのですが、今回展示した写真は全部撮り直したものでした。

いま振り返って考えると、秋山氏の写真展を見て、こういう写真を撮らなくてはいけない、と考えた目標に対して、思ったほど近づけたわけではありません。それでも、写真を撮る力としては、自分にとっては大きな進歩でした。

私に新たな目標を与えていただいた秋山 喜和氏に、感謝申し上げます。

もうひとつ、A2、A1 サイズのプリントとなると、私にはプリンターを用意するのは問題がありました。結局、今回のプリントは全て「イーワンネットサービス」に依頼することになりました。午前11時までにデータを送ると、プリント結果が翌日の午前に届く、というレスポンスの早さにだいぶ助けられました。このようなサービス体制を作成していただいている e1 さんに感謝申し上げます。

最後になりましたが、今回の撮影対象である五つの神社の関係者の方々に謝意を表します。木造建築の維持・運営に大変なご苦労をされているものと推察します。そのおかげで、私

たちは、重要文化財の美しさに感動し、さらには、神社の長い歴史に思いをはせることができます。

水戸八幡宮

笠間稻荷神社

内外大神宮

大宝八幡神社

鹿島神宮

富田次男

謝 辞

今回の写真展は、前回の写真展で寺院をテーマにしたことから、自然な流れとして神社を取り上げることにして撮影を開始しました。

しばらくして、ある写真展を見る機会があり、衝撃を受けました。

秋山喜和氏の写真展 「蓮池・・・その折々の詩」

東海ステーションギャラリー(2016年1月下旬開催)

対象に肉薄する緊迫感、安定した構図、緻密な細部描写。このような写真を目標にしなければいけない、とその時に強く感じました。

会場で秋山氏に話を伺うと、カメラボディは私のもので問題なさそう、レンズはグレードアップが必要、撮影方法は上達するほかないと感じ、その後、望遠、標準、広角の3本のレンズ入手し、撮影を再開しました。

いま振り返ってみると、秋山氏の写真展を見て、こういう写真を撮ろう、と考えた目標に対して、まだまだ先が遠いなあ、ということを実感しています。

私に新たな目標を与えていただいた秋山喜和氏に感謝申し上げます。

また、今回のプリントは全て「イーワンネットサービス」に依頼しました。データを送ってからプリント結果が届くまでのレスポンスの早さにだいぶ助けられました。「イーワンネットサービス」に感謝申し上げます。

さらに、今回の展示対象である下記の五つの神社の関係者の方々に感謝申し上げます。歴史的建築の維持・運営に大変なご苦労をされているものと思います。そのおかげで、私たちは、このような重要文化財の美しさに感動し、さらには、神社の長い歴史に思いをはせることができます。

水戸八幡宮

笠間稻荷神社

内外大神宮

大宝八幡宮

鹿島神宮 (順不同)